



Better Health, Brighter Future

2016年度 第1四半期 業績概要 DATA BOOK

武田薬品工業株式会社(証券コード: 4502)

お問い合わせ先 グローバルファイナンスIR

TEL: 03-3278-2306

<http://www.takeda.co.jp/>

決算データ

<http://www.takeda.co.jp/investor-information/results/>

もくじ

I. 業績の状況	
1. 売上収益・売上高の状況	
◆ 連結医療用医薬品売上収益	1
◆ 医療用医薬品 グローバル主要品目売上高	2
◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）	3
◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高	4
◆ 一般用医薬品 主要品目売上高	5
2. 為替レート	6
II. パイプラインの現状	
1. 開発の状況	7-10
■ がん領域	
■ 消化器系疾患領域	
■ 中枢神経系疾患領域	
■ ワクチン	
■ その他	
■ 最近のステージアップ品目	
■ 開発中止品目	
■ 共同事業化契約変更品目	
■ ホームページで開示している臨床試験情報	
2. 研究の状況	
■ 主な共同研究活動	11

I. 業績の状況

1. 売上収益・売上高の状況

◆連結医療用医薬品売上収益

(億円)

	14年度	15年度	15年度		16年度		対前年	実質的な 成長率
	年間	年間	Q1	Q1	Q1	Q1		
製商品売上高	15,276	15,928	3,921	3,818	△103	△2.6%	10.9%	
日本	5,532	5,351	1,331	1,239	△92	△6.9%	10.3%	
米国	3,949	4,953	1,186	1,267	81	6.9%	16.5%	
欧州およびカナダ	2,871	2,835	707	714	6	0.9%	7.9%	
新興国	2,923	2,790	697	599	△98	△14.1%	5.2%	
ロシア/CIS	795	615	154	125	△29	△18.7%	8.0%	
ロシア	562	433	106	88	△18	△17.0%	10.7%	
中南米	801	660	176	146	△30	△17.0%	11.6%	
ブラジル	462	374	98	79	△19	△18.9%	2.4%	
アジア	1,024	1,166	286	253	△32	△11.2%	1.8%	
中国	530	632	134	132	△1	△1.1%	12.9%	
その他	303	349	81	74	△7	△9.0%	0.8%	
知的財産権収益・役務収益	869	558	158	122	△35	△22.3%	△20.3%	
日本	81	66	20	28	8	43.2%	△22.8%	
海外	788	493	138	94	△44	△31.6%	△20.0%	
医療用医薬品売上収益 合計	16,145	16,487	4,078	3,940	△138	△3.4%	9.7%	
海外医療用医薬品売上収益比率	65.2%	67.1%	66.9%	67.9%	1.0 pt			

(注1) 売上収益は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類している。

(注2) 「その他」には、中東・大洋州・アフリカが含まれている。

◆医療用医薬品 グローバル主要品目売上高(注1)

(億円)

		14年度 年間	15年度 年間	15年度 Q1	16年度 Q1	対前年		実質的な 成長率	16年度見込 (注3)
ベルケイド	米国	1,108	1,316	332	289	△44	△13.2%	△6.3%	
	米国以外	419	304	91	67	△24	△26.1%	△17.9%	
	合計	1,527	1,620	423	355	△67	△15.9%	△8.7%	↘ ↘
リュープロレリン	日本	576	538	133	131	△3	△2.0%	△2.0%	
	米国	159	173	47	57	10	20.4%	23.5%	
	欧州およびカナダ	364	353	87	83	△4	△4.9%	△0.8%	
	新興国	142	180	41	38	△4	△9.1%	△0.2%	
	合計	1,240	1,244	309	308	△1	△0.4%	2.5%	↘
パントプラゾール	米国	110	136	17	34	17	94.8%	119.5%	
	欧州およびカナダ	493	434	118	86	△32	△27.0%	△21.7%	
	新興国	434	437	107	80	△27	△24.9%	△11.2%	
	合計	1,037	1,008	243	201	△42	△17.3%	△7.4%	↘
ランソプラゾール	日本(注2)	525	413	110	21	△89	△80.8%	12.0%	
	米国	287	275	91	66	△25	△27.3%	△20.7%	
	欧州およびカナダ	117	105	31	23	△9	△28.1%	△23.9%	
	新興国	101	102	27	24	△3	△11.0%	0.5%	
	合計	1,029	895	259	134	△126	△48.4%	△14.8%	↘ ↘ ↘
エンティビオ	米国	201	631	120	225	105	87.2%	103.4%	
	欧州およびカナダ	77	219	39	88	49	124.4%	137.3%	
	新興国	0	13	2	8	5	-	-	
	合計	278	862	162	320	159	98.2%	113.9%	↗ ↗ ↗
カンデサルタン	日本(注2)	946	585	161	48	△112	△69.8%	△37.2%	
	米国	21	13	3	2	△1	△22.5%	△16.2%	
	欧州およびカナダ	177	125	32	30	△2	△7.0%	△1.2%	
	新興国	114	124	31	32	1	2.1%	11.0%	
	合計	1,257	848	227	113	△114	△50.4%	△18.9%	↘ ↘ ↘
デクスラント	米国	535	640	163	130	△33	△20.2%	△13.3%	
	欧州およびカナダ	49	54	13	15	1	10.9%	24.9%	
	新興国	39	57	12	16	5	38.9%	66.5%	
	合計	623	751	188	162	△27	△14.3%	△5.9%	→
アジルバ	日本	454	590	141	177	36	25.6%	25.6%	
	合計	454	590	141	177	36	25.6%	25.6%	→
ネシーナ	日本	384	369	95	93	△2	△1.6%	△1.6%	
	米国	41	53	15	15	0	3.0%	10.9%	
	欧州およびカナダ	6	35	5	15	10	-	-	
	新興国	13	33	7	10	3	35.1%	55.9%	
	合計	443	489	122	133	12	9.5%	11.6%	→
コルクリス	米国	588	465	112	105	△7	△5.9%	2.1%	
	合計	588	465	112	105	△7	△5.9%	2.1%	→
ユーロリック	米国	326	418	98	95	△3	△2.7%	5.6%	
	欧州およびカナダ	6	7	2	2	0	4.7%	17.9%	
	新興国	-	-	-	0	0	-	-	
	合計	332	425	100	97	△2	△2.4%	6.0%	→
アミティーザ	米国	319	372	94	89	△5	△5.6%	2.5%	
	欧州およびカナダ	0	1	0	0	△0	△18.7%	△9.0%	
	合計	320	373	94	89	△5	△5.7%	2.5%	→
アドセトリス	日本	28	31	8	9	1	9.1%	9.1%	
	欧州およびカナダ	163	174	43	50	7	17.4%	24.5%	
	新興国	36	72	17	19	1	8.7%	46.9%	
	合計	229	276	68	78	10	14.3%	27.2%	→
トリンテリックス (注4)	米国	136	245	50	64	14	27.6%	38.2%	
	合計	136	245	50	64	14	27.6%	38.2%	↗ ↗ ↗
タケキャブ	日本	32	84	5	64	58	-	-	
	合計	32	84	5	64	58	-	-	↗ ↗ ↗
ニンラーロ	米国	-	40	-	60	60	-	-	
	新興国	-	0	-	0	0	-	-	
	合計	-	41	-	60	60	-	-	↗ ↗ ↗

(注1) 知的財産権収益および役務収益を含めて表示している。

(注2) 単剤について、2016年4月、テバ社との合併会社に移管。

(注3) 16年度見込：15年度実績からの増減率(財務ベース)を矢印で表示している。

→ ±<10% ↗ +10%~20% ↗ ↗ +20%~30% ↗ ↗ ↗ +>30% ↘ -10%~20% ↘ ↘ -20%~30% ↘ ↘ ↘ ->30%

(注4) 「トリンテリックス」は、2016年6月より米国における製品名を「プリンテリックス」より変更して販売している。
本剤の剤型、効能・効果、用法・用量に変更はない。

◆ 医療用医薬品 米国主要品目売上高（現地通貨ベース）^(注1)

（百万米ドル）

	14年度 年間	15年度 年間	15年度 Q1	16年度 Q1	対前年	増減率
ベルケイド	1,017	1,079	276	247	△29	△10.6%
エンティビオ	179	524	99	201	102	103.4%
デクスラント	488	530	135	117	△18	△13.3%
コルクリス	542	386	92	94	2	2.1%
ユーロリック	297	347	81	85	5	5.6%
アミティーザ	291	308	77	79	2	2.5%
トリンテリックス ^(注2)	124	203	42	58	16	38.2%
プレバシド (ランソプラゾール)	254	222	73	57	△15	△20.9%
ニンラーロ	-	34	-	54	54	-
コントレイブ ^(注3)	19	56	16	13	△3	△21.6%

(注1) 知的財産権収益および役務収益を除いた製品売上高を表示している。

(注2) 「トリンテリックス」は2016年6月より米国における製品名を「ブリンテリックス」より変更して販売している。
本剤の剤型、効能・効果、用法・用量に変更はない。

(注3) 2016年3月、本剤に関するOrexigen社との提携解消を発表。

◆ 医療用医薬品 国内主要品目売上高

(億円)

	発売年月	薬効区分	14年度	15年度	15年度	16年度	対前年	増減率
			年間	年間	Q1	Q1		
アジルバ ^(注)	(12. 5)	高血圧症治療剤	454	590	141	177	36	25.6%
リュープリン (リュープロレリン)	(92. 9)	前立腺がん・乳がん・ 子宮内膜症治療剤	576	538	133	131	△3	△2.0%
エンブレル	(05. 3)	抗リウマチ剤	412	408	104	110	6	5.9%
ネシーナ ^(注)	(10. 6)	糖尿病治療剤	384	369	95	93	△2	△1.6%
ロトリガ	(13. 1)	高脂血症治療剤	132	223	50	68	18	36.8%
タケキャブ ^(注)	(15. 2)	酸関連疾患 治療剤	32	84	5	64	58	-
ベクティビックス	(10. 6)	直腸・結腸がん 治療剤	183	184	47	49	2	5.1%
レミニール	(11. 3)	アルツハイマー型 認知症治療剤	139	160	39	46	8	19.3%
ベネット	(02. 5)	骨粗鬆症治療剤	104	97	25	23	△2	△6.4%
ロゼレム	(10. 7)	不眠症治療剤	66	74	18	21	3	17.8%
アドセトリス	(14. 4)	悪性リンパ腫 治療剤	28	31	8	9	1	9.1%

(注) 配合剤、パック製剤を含む。

◆ 一般用医薬品 主要品目売上高

(億円)

	14年度 年間	15年度 年間	15年度 Q1	16年度 Q1	対前年	増減率
アリナミン錠剤類	207	252	69	61	△8	△11.8%
アリナミンドリンク類	149	149	40	51	11	27.3%
ビオフェルミン類	81	86	22	22	△0	△0.2%
ベンザ類	97	98	12	13	1	8.3%
ボラギノール類	41	45	11	11	0	3.0%

2. 為替レート

平均レート

(円)

	14年度 年間	15年度 年間	15年度 4-6月	16年度 4-6月	16年度前提
ドル	109	121	121	112	110
ユーロ	139	132	132	126	125
ループル	2.6	1.9	2.2	1.7	1.6
人民元	17.6	19.0	19.5	17.1	17.4
リアル	45.3	34.1	39.1	31.3	31.2

II. パイプラインの現状

1. 開発の状況

この表では当社が明確に効能取得をターゲットとしている主な効能を掲載しています。これらの効能以外においても、将来の効能・剤型追加の可能性を検討するために臨床試験を行っています。この表では日・米・欧に限って開示していますが、新興国を含め、他の地域においても開発を行っています。

■ がん領域

開発コード <一般名> 製品名	薬効(投与経路)	適応症/剤型追加	開発段階
MLN9708 <ixazomib> NINLARO®(米国)	プロテアソーム阻害薬 (経口剤)	再発・難治性の多発性骨髄腫	欧州 申請(15/7) 日本 申請(16/7)
		初発の多発性骨髄腫	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
		自家造血幹細胞移植後の初発の多発性骨髄腫の維持療法	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
		自家造血幹細胞移植未実施の初発の多発性骨髄腫の維持療法	米国 P-III 欧州 P-III 日本 P-III
		再発・難治性の原発性 AL アミロイドーシス	米国 P-III 欧州 P-III
		固形がん	米国 P-I
		SGN-35 <brentuximab vedotin> アドセトリス®(欧州、日本)	CD30 モノクローナル抗体薬物複合体 (注射剤)
MLN8237 <alisertib>	オーロラ A キナーゼ阻害薬 (経口剤)	小細胞肺癌	米国 P-IIb 欧州 P-IIb
TAK-228 <->	mTORC1/2 阻害薬 (経口剤)	乳がん	米国 P-IIb 欧州 P-IIb
		腎がん	米国 P-IIb
		子宮内膜がん	米国 P-IIb
TAK-385 <relugolix>	LH-RH アンタゴニスト (経口剤)	前立腺がん	日本 P-I
TAK-924 <pevonedistat>	NEDD8 活性化酵素阻害薬 (注射剤)	高リスク骨髄異形成症候群	米国 P-IIa 欧州 P-IIa
		固形がん	— P-I
TAK-117 <->	PI3K α アイソフォーム阻害薬 (経口剤)	非小細胞肺癌	米国 P-I/II 欧州 P-I/II
		胃がん	— P-I
TAK-202 <plozalizumab>	CCR2 アンタゴニスト (注射剤)	固形がん	— P-I
TAK-243 <->	ユビキチン活性化酵素阻害薬 (注射剤)	固形がん	— P-I
TAK-580 <->	pan-Raf キナーゼ阻害薬 (経口剤)	固形がん	— P-I
TAK-659 <->	SYK キナーゼ阻害薬 (経口剤)	固形がん、血液がん	— P-I
TAK-931 <->	CDC7阻害薬 (経口剤)	固形がん	— P-I

■ 消化器系疾患領域

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効(投与経路)	適応症/剤型追加	開発段階	
TAK-390MR <dexlansoprazole> DEXILANT®(米国、欧州)	プロトンポンプ阻害薬(経口剤)	青年期酸関連疾患	米国 欧州	承認(16/7) 承認(16/5)
Cx601 ＜-＞	同種異系脂肪由来幹細胞懸濁剤(注射剤)	クローン病に伴う肛門複雑瘻孔	欧州	申請(16/3)
MLN0002 <vedolizumab> ENTYVIO®(米国、欧州)	ヒト化抗α4β7インテグリン モノクローナル抗体(注射剤)	潰瘍性大腸炎	日本	P-III
		クローン病	日本	P-III
		皮下投与製剤(潰瘍性大腸炎、クローン病)	米国 欧州	P-III P-III
		同種造血幹細胞移植を受けている患者における移植片対宿主病の予防	日本	P-III
<lubiprostone> AMITIZA®(米国)	クロライドチャネル開口薬(経口剤)	新規剤型	米国	P-III
		小児機能性便秘症	米国	P-III
TAK-438 <vonoprazan> タケキヤブ®(日本)	カリウムイオン競合型アシッド ブロッカー(経口剤)	プロトンポンプ阻害薬による治療で効果が不十分な患者における逆流性食道炎	—	P-IIb
TD-8954 ＜-＞	5-HT4受容体アゴニスト(注射剤)	経腸栄養不耐性	—	P-I/II
TAK-828 ＜-＞	RORγtインバーサアゴニスト(経口剤)	クローン病	—	P-I
ATC-1906¹ ＜-＞	ドパミンD2/D3受容体アンタゴニスト(経口剤)	胃不全麻痺	—	P-I

*1 当社は、契約日から現在実施中のP-I試験終了後の一定期間終了までAltos社を買収する独占的オプション権を有する。Altos社はP-I試験終了まで実施する責任を負う。

■ 中枢神経系疾患領域

開発コード ＜一般名＞ 製品名	薬効(投与経路)	適応症/剤型追加	開発段階	
Lu AA21004 <vortioxetine> TRINTELLIX®(米国)	多重作用メカニズム型抗うつ薬(経口剤)	成人の大うつ病患者における認知機能への効果に関する臨床成績を添付文書に追記	米国	FDA Complete Response Letter受領(16/3)
		大うつ病	日本	P-III
		成人における注意欠陥多動性障害	米国	P-IIa
AD-4833/TOMM40	ミトコンドリア成長調節薬(経口剤)/バイオマーカー	アルツハイマー病に起因する軽度認知機能障害の発症遅延	米国 欧州	P-III P-III
TVP-1012² <rasagiline>	モノアミン酸化酵素B(MAO-B)阻害薬(経口剤)	パーキンソン病	日本	P-III
TAK-063 ＜-＞	PDE10A阻害薬(経口剤)	統合失調症	米国	P-IIa
TAK-041 ＜-＞	GPR139アゴニスト(経口剤)	統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P-I
TAK-058 ＜-＞	5-HT3受容体アンタゴニスト(経口剤)	統合失調症、特に統合失調症に伴う認知機能障害	—	P-I
TAK-071 ＜-＞	M1受容体ポジティブアロステリック調節薬(MIPAM)(経口剤)	アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症	—	P-I
TAK-653 ＜-＞	AMPA受容体ポテンシエーター(経口剤)	精神疾患、神経疾患	—	P-I
TAK-831 ＜-＞	D-アミノ酸化酵素阻害薬(経口剤)	小脳性運動失調、統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P-I
TAK-915 ＜-＞	PDE2A阻害薬(経口剤)	統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P-I
TAK-935 ＜-＞	CH24H阻害薬(経口剤)	癲癇	—	P-I

*2 Teva社のテリトリーにおける製品名:AZILECT®

■ ワクチン

開発コード 製品名	薬効(投与経路)	適応症/剤型追加	開発段階	
TAK-003	4価デング熱ワクチン(注射剤)	デング熱の予防	—	P-IIb
TAK-214	ノロウイルスワクチン(注射剤)	ノロウイルスによる急性胃腸炎の予防	—	P-IIb
TAK-850	季節性インフルエンザワクチン(注射剤)	インフルエンザウイルスのA亜型およびB亜型によるインフルエンザの予防	日本	P-IIa
TAK-021	EV71 ワクチン(注射剤)	エンテロウイルス 71 により発症する手足口病の予防	—	P-I

■ その他

開発コード <一般名> 製品名	薬効(投与経路)	適応症/剤型追加	開発段階	
SYR-322 <alogliptin> ネシーナ®(米国、日本) VIPIDIA®(欧州)	DPP-4 阻害薬(経口剤)	メトホルミンとの合剤(2型糖尿病)	日本	申請(15/9)
TAK-536 <azilsartan> アジルバ®(日本)	アンジオテンシン II 受容体拮抗薬(経口剤)	アムロジピンとヒドロクロロチアジドとの合剤(高血圧症)	日本	申請(16/6)
TAK-385 <relugolix>	LH-RH アンタゴニスト(経口剤)	子宮筋腫	日本	P-III
		子宮内膜症	日本	P-IIb
MT203 <namilumab>	GM-CSF モノクローナル抗体(注射剤)	乾癬	欧州	P-IIb
		関節リウマチ	欧州 日本	P-IIb P-IIa
TAK-272 <->	直接的レニン阻害薬(経口剤)	糖尿病性早期腎症	日本	P-IIb
TAK-020 <->	ブルトン型チロシinkinase阻害薬(経口剤)	関節リウマチ	—	P-I
TAK-079 <->	細胞溶解性モノクローナル抗体(注射剤)	関節リウマチ、全身性エリテマトーデス	—	P-I

■ 最近のステージアップ品目 ※2015年度決算開示(2016年5月10日)以降の進捗情報

開発コード <一般名>	適応症/剤型追加	国/地域	開発段階
TAK-390MR <dexlansoprazole>	青年期酸関連疾患	欧州	承認(16/5)
TAK-390MR <dexlansoprazole>	青年期酸関連疾患	米国	承認(16/7)
SGN-35 <brentuximab vedotin>	自家造血幹細胞移植後のホジキンリンパ腫	欧州	承認(16/7)
TAK-536 <azilsartan>	アムロジピンとヒドロクロチアジドとの合剤(高血圧症)	日本	申請(16/6)
MLN9708 <ixazomib>	再発・難治性の多発性骨髄腫	日本	申請(16/7)
TAK-438 <vonoprazan>	プロトンポンプ阻害薬による治療で効果が不十分な患者における逆流性食道炎	—	P-II b
MLN0002 <vedolizumab>	同種造血幹細胞移植を受ける患者における移植片対宿主病の予防	米国	P-I
TAK-041 <->	統合失調症に伴う認知機能障害および陰性症状	—	P-I
TAK-071 <->	アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症	—	P-I
TAK-202 <plozalizumab>	固形がん	—	P-I

■ 開発中止品目 ※2015年度決算開示(2016年5月10日)以降の情報

開発コード <一般名>	適応症/剤型追加(開発段階)	中止および終了理由
<febuxostat XR>	徐放製剤(高尿酸血症)(米国 P-III)	P-III試験結果を踏まえ、開発中止を決定。
NE-58095NF <risedronate>	剤型追加/用法・用量変更(骨粗鬆症)(日本 P-II/ III)	試験結果を踏まえた戦略的な理由により、開発中止を決定。

■ 共同事業化契約変更品目 ※2015年度決算開示(2016年5月10日)以降の情報

開発コード <一般名>	適応症/剤型追加(開発段階)	変更理由
AMG 386 <trebananib>	卵巣がん(日本 P-III)	P-III試験結果が所定の基準を満たせず、導入品の権利を Amgen 社に返還することを決定。
TAK-385 <relugolix>	前立腺がん(米国、欧州 P-II b)	当社は、日本とアジアの一部の国を除く全世界における relugolix の独占的権利を Myovant 社に供与。
AMG 403 <fulranumab>	疼痛(日本 P-I)	開発戦略の見直しにより、導入品の権利を Amgen 社に返還することを決定。

■ ホームページで開示している臨床試験情報

全ての臨床試験情報は自社ホームページの英文サイト(<http://www.takeda.com/c-t/>)で、日本における情報については和文サイト(<http://www.takeda.co.jp/c-t/>)で公開しています。当社では、全世界の医療関係者および患者さんなど多くの方々に臨床試験情報を公開することにより、当社製品のより一層の適正使用に資するものと考えています。

2. 研究の状況

■主な共同研究活動

がん領域

提携先	国	研究内容／目的	期間
Seattle Genetics	米国	ADC (抗体薬物複合体) 技術	2009/3～
Mersana Therapeutics	米国	ADC (抗体薬物複合体) 技術	2014/4～
ImmunoGen, Inc.	米国	ADC (抗体薬物複合体) 技術	2015/3～
国立がん研究センター	日本	抗がん剤の創薬やがん生物学の研究に携わる研究者、医師などの交流を促進による、基礎研究から臨床試験までの治療オプションの探索	2015/4～2018/4
M2Gen	米国	がん患者のゲノムデータ	2016/6～

消化器系疾患領域

提携先	国	研究内容／目的	期間
Cour Pharmaceutical Development Company	米国	Cour社が有するTolerizing Immune Modifying nanoParticles(TIM)技術に基づくナノテクノロジー技術を利用し、セリアック病等の消化器疾患の治療薬となり得る免疫調整薬を創出	2015/12～
Enterome	フランス	潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患や過敏性腸症候群などの腸管運動障害をはじめとした消化器疾患において重要な役割を担うと考えられる腸内細菌を標的とした新たな治療薬を創出	2016/1～
enGene	カナダ	enGene社の遺伝子導入基盤技術である「Gene Pill」を活用し、専門的な消化器系疾患領域に対する新規治療薬を創出	2016/1～

中枢神経系疾患領域

提携先	国	研究内容／目的	期間
Zinfandel Pharmaceuticals	米国	アルツハイマー病のバイオマーカーであるTOMM40	2010/12～
京都大学	日本	中枢神経系制御に基づく肥満症治療薬および統合失調症治療薬の創出	2011/1～2016/3
NsGene	米国	パーキンソン病の治療薬となり得るカプセル化細胞治療薬の創出	2016/1～

その他／複数の疾患領域

提携先	国	研究内容／目的	期間
Tri-Institutional Therapeutics Discovery Institute	米国	産学連携を推進し、革新的な医薬品を創出	2013/10～2017/6
Trianni, Inc.	米国	Trianni社の有する次世代の遺伝子導入マウスの基盤技術を用いて、当社が研究対象とする全ての疾患領域において、ヒト型モノクローナル抗体を作成	2014/3～
MacroGenics	米国	MacroGenics社のDual-Affinity Re-Targeting (DART®) 技術を活用し、両社が共同で選定した2つの分子を標的とする新薬候補物質の研究開発	2014/9～
慶應義塾大学、新潟大学	日本	中枢神経系疾患やがんなどを対象とした、疾患関連RNA結合タンパク質の探索と機能解析	2015/3～2018/3
京都大学iPS細胞研究所 (CiRA)	日本	心不全、糖尿病、神経疾患、がんなどにおけるiPS細胞技術の臨床応用	2015/4～2025/3
Gencia LLC	米国	血液疾患および炎症性疾患を対象とし、ミトコンドリア結合型糖質コルチコイド受容体作動薬(「MAGR作動薬」)の研究開発	2015/8～
アステラス製薬、第一三共	日本	革新的医薬品の創出を効率化・加速化するための、健康成人におけるバイオマーカーの基礎データ	2016/5～
Ultragenyx	米国	希少遺伝子疾患	2016/6～2021/5



武田薬品工業株式会社